

2022年3月8日

日医総研リサーチ・レポート No.123

## 民間一般病院の経営概況

「第23回医療経済実態調査報告—令和3年実施—」からの集計

日本医師会総合政策研究機構 前田由美子

1. 中医協の「医療経済実態調査」は、診療報酬改定の影響を捕捉するため、一般に病院については、介護収益がほとんどない医療機関を対象に分析が行われる。しかし介護収益が一定程度ある医療機関のデータも収集されていることから、本稿では、データ全体を活用し、民間（医療法人）一般病院の損益状況を介護収益の有無別等に区分して、それぞれの特徴を分析した。
2. 民間一般病院のうち、① 急性期型の病院、② ケアミクス型の病院、③ 療養病床主体の病院が、約3分の1ずつ存在する。特に療養病床は、国公立・公的病院の参入が少なく、民間病院が担っている機能である。
3. 「急性期型」は、コロナ前から損益差額率の水準が相対的に低い。また、外部支出（医薬品費、設備費等）の割合が高く、他産業の賃上げや物価上昇の影響を受けやすい。近年、人件費率も上昇している。外来収益の割合も高く、受診控えの影響も受ける。
4. 「ケアミクス型」のうち介護事業を行っているところでは、病院病床のダウンサイジングによって自院の介護施設への退院患者が減少し、介護施設サービスの売上減少に影響しているのではないかと推察される。ただし今のところは、病床削減による稼働率の上昇が収益性の向上に寄与しているようである。
5. 療養病床主体の病院も病床数を削減して収益性を維持しているが、労働集約型であり、職員の処遇改善による人件費の上昇が利益率の低下に直結しやすい。
6. 「医療経済実態調査」自体は、診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的としているが、今後も多角的な活用を検討したい。

## 目 次

1. 分析の方法 .....	1
2. 民間一般病院の動向 .....	2
2.1. 病院のタイプ.....	2
2.2. 経営概況.....	6
2.2.1. 医業・介護収益（収入） .....	6
2.2.2. 損益差額率および費用 .....	9
2.2.3. 損益分岐点比率 .....	14
2.2.4. 介護収益（収入） .....	15
3. まとめ（おわりに） .....	18
4. 付表 .....	19
4.1. 1施設当たり医業・介護収益 .....	19
4.2. 100床当たり医業・介護収益 .....	20
4.3. 1施設当たり収益および費用 .....	21
4.4. 100床当たり収益および費用 .....	22

## 1. 分析の方法

2021年11月24日の中央社会保険医療協議会（以下、中医協）総会で「第23回医療経済実態調査（医療機関等調査）報告—令和3年実施—」（以下、「医療経済実態調査」）が公表された<sup>1</sup>。同調査は、中医協が診療報酬改定の基礎資料とするため、2年ごとに実施している。

「医療経済実態調査」は、2種類の方法で集計されている。

- 集計1：医業・介護収益に占める介護収益の割合が2%未満の医療機関
- 集計2：調査に回答した全ての医療機関等

一般に病院の分析では、診療報酬以外の影響が少ない集計1が活用されるが、一般病院の医療法人の場合、集計1が410施設、集計2が607施設であり、約3分の1の病院が日の目を見ないことになる（集計表には収載されているが）。

そこで、本稿では集計2のデータも活用して、医療法人の一般病院（以下、民間一般病院）を介護収益2%未満・以上に区分し、損益状況を試算した。

- 介護収益2%未満の病院：集計1をそのまま使用
- 介護収益2%以上の病院：

$$\{ (\text{集計2の1施設当たり平均値} \times \text{集計2の回答施設数}) - (\text{集計1の1施設当たり平均値} \times \text{集計1の回答施設数}) \} \div (\text{集計2の回答施設数} - \text{集計1の回答施設数})$$

なお、あくまで「医療経済実態調査」に回答した病院が対象であり、もともとの調査の抽出率および回答率<sup>2</sup>による制約がある。

### 【用語の定義】

- 前々年（度）：2019年4月から2020年3月末までに決算を結了した病院のデータ
- 前年（度）：2020年4月から2021年3月末までに決算を結了した病院のデータ

<sup>1</sup> 中央社会保険医療協議会「第23回医療経済実態調査（医療機関等調査）報告—令和3年実施—」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/000857751.pdf>

<sup>2</sup> 「医療経済実態調査」の病院の抽出率は、全数調査である特定機能病院およびこども病院を除き1/3。「第23回調査」の調査対象病院数は2,305施設、有効回答数は1,218施設（有効回答率52.8%）。

## 2. 民間一般病院の動向

### 2.1. 病院のタイプ

民間一般病院を療養病床の有無別および介護収益の割合別で区分した（表 2.1.1）。区分名は仮称であり、何らかの定義づけをするものではない。なお、全国的に見て民間一般病院の8割強は、200床未満の中小病院である（図 2.1.1）。

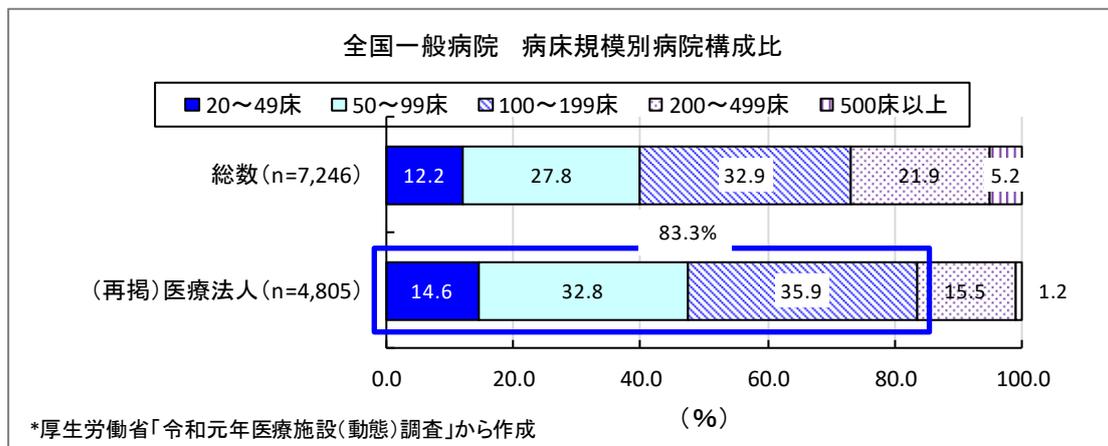
表 2.1.1 「医療経済実態調査」に回答した一般病院数（医療法人）

	集計区分	区分(仮称)	回答病院数	構成比(%)		平均病床数		
						前々年(度)	前年(度)	増減(%)
一般病院	集計2		607	100.0	—	129	127	▲ 1.6
療養病床なし	集計2		226	37.2	100.0	107	107	0.0
介護収益2%未満	集計1	急性期型	188	31.0	83.2	112	112	0.0
介護収益2%以上	試算	(施設数が少ないため参考とする)	38	6.3	16.8	82	82	0.0
療養病床あり	試算		381	62.8	100.0	142	139	▲ 2.2
療養病床60%未満	試算		203	33.4	53.3	155	154	▲ 1.0
介護収益2%未満	試算	ケアミクス医療型	131	21.6	34.4	158	159	0.7
介護収益2%以上	試算	ケアミクス介護型	72	11.9	18.9	150	143	▲ 4.3
療養病床60%以上	集計2		178	29.3	46.7	127	122	▲ 3.9
介護収益2%未満	集計1	医療療養型	91	15.0	23.9	122	116	▲ 4.9
介護収益2%以上	試算	慢性期型	87	14.3	22.8	132	128	▲ 3.0

区分は仮称であり何らかの定義づけをするものではない。

\*中央社会保険医療協議会「第23回医療経済実態調査(医療機関等調査)報告—令和3年実施—」から作成

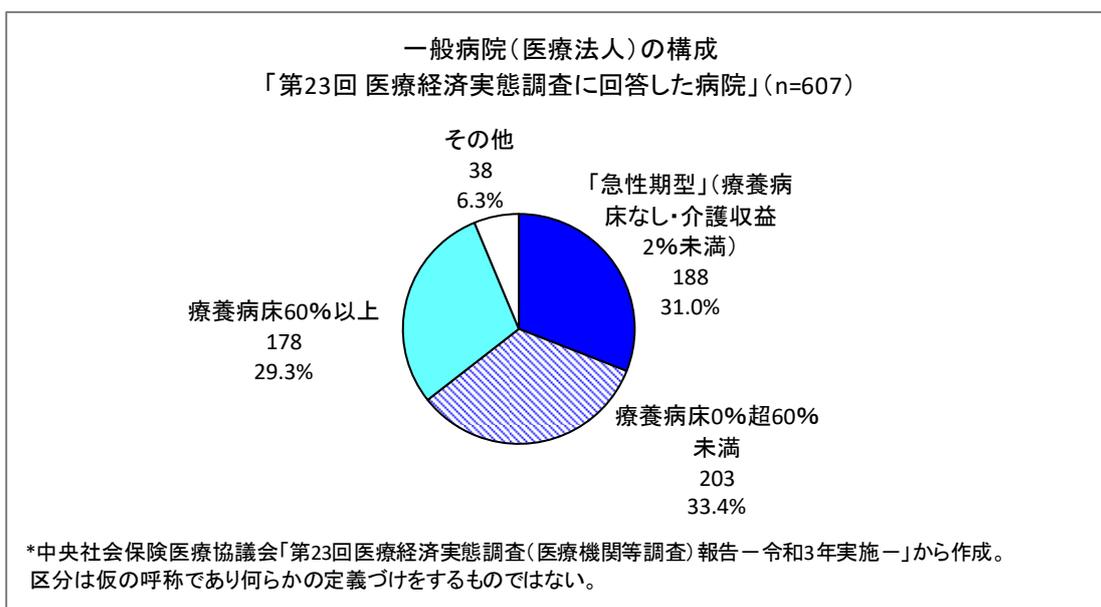
図 2.1.1 全国一般病院 病床規模別病院数構成比



民間一般病院のうち、次の病院が3分の1程度ずつ存在する（図 2.1.2）。

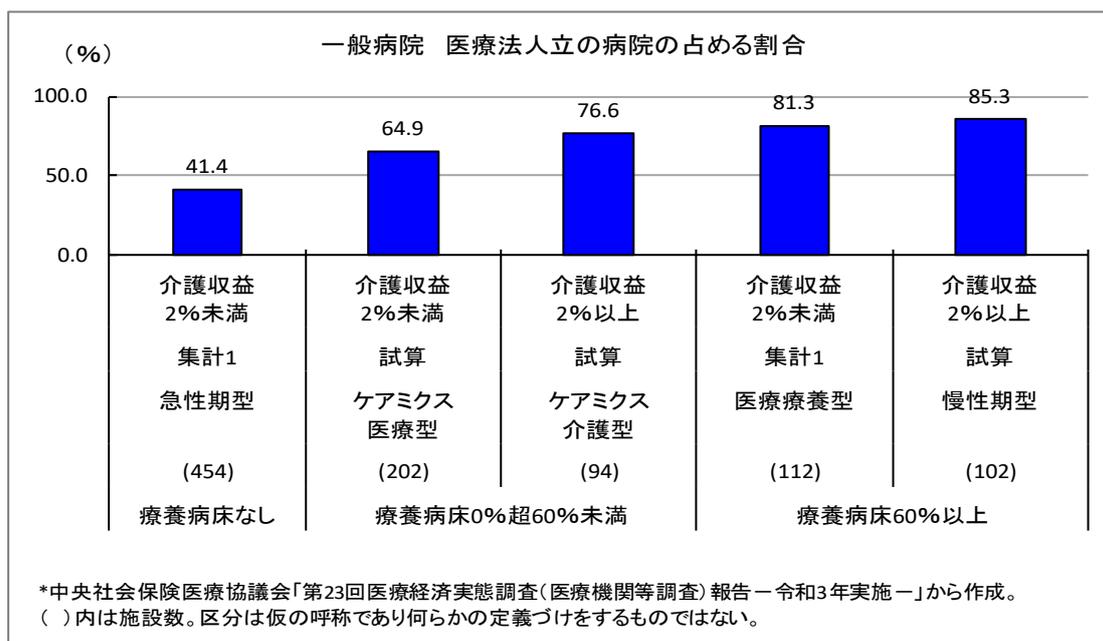
- ・一般病床のみで介護収益がほとんどない病院（「急性期型」）
- ・療養病床0%超60%未満の病院（一般病床と療養病床の「ケアミクス型」）
- ・療養病床60%以上の病院（療養病床主体）

図 2.1.2 一般病院（医療法人）の構成



「医療経済実態調査」に回答した一般病院のうち、「急性期型」では医療法人は約4割である。「医療療養型」「慢性期型」は国公立・公的病院の参入が少ないため、医療法人が8割を超えている（図 2.1.3）。

図 2.1.3 一般病院 医療法人立の病院の占める割合



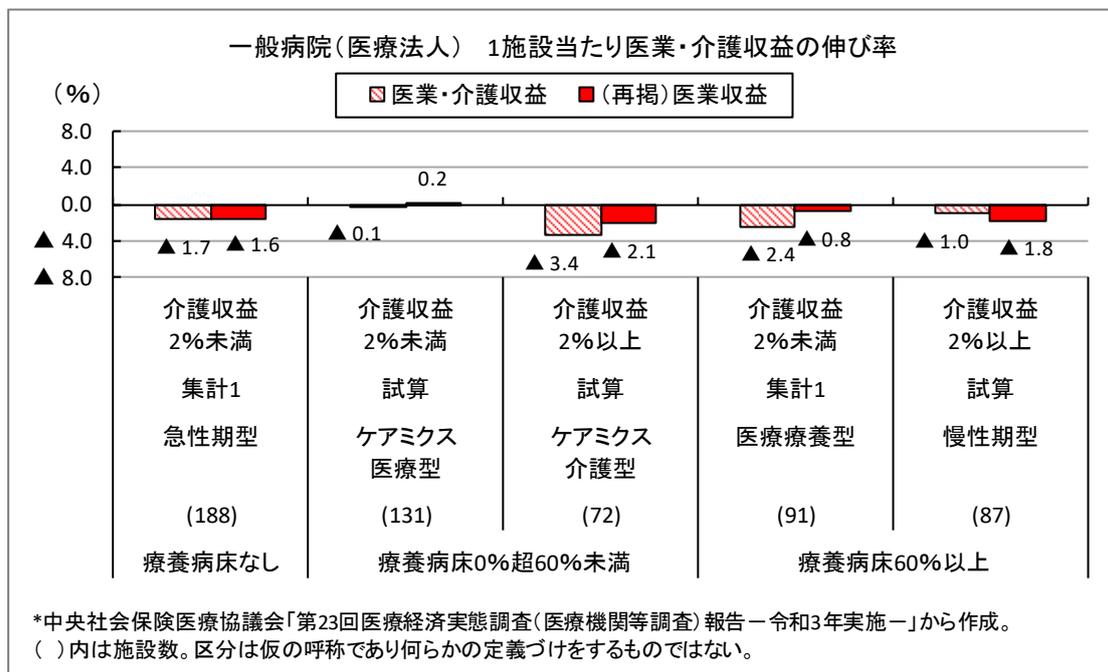


## 2.2. 経営概況

### 2.2.1. 医業・介護収益（収入）

1 施設当たり医業・介護収益（除コロナ補助金）はすべてのカテゴリで減少したが（図 2.2.1）、病床削減の影響もある。

図 2.2.1 一般病院（医療法人） 1 施設当たり医業・介護収益の伸び率



100 床当たりでは、「急性期型」、「ケアミクス医療型」で減収、「ケアミクス介護型」、「医療療養型」、「慢性期型」で増収である（図 2.2.2）。

入院・外来別では、外来収益はすべてのカテゴリで減少したが、入院収益は「急性期型」を除いて増収であった（図 2.2.3）。「ケアミクス介護型」、「医療療養型」、「慢性期型」は病床数を削減し（前述）、病床稼働率を上昇させたことがうかがえる。

図 2.2.2 一般病院（医療法人） 100床当たり医業・介護収益の伸び率

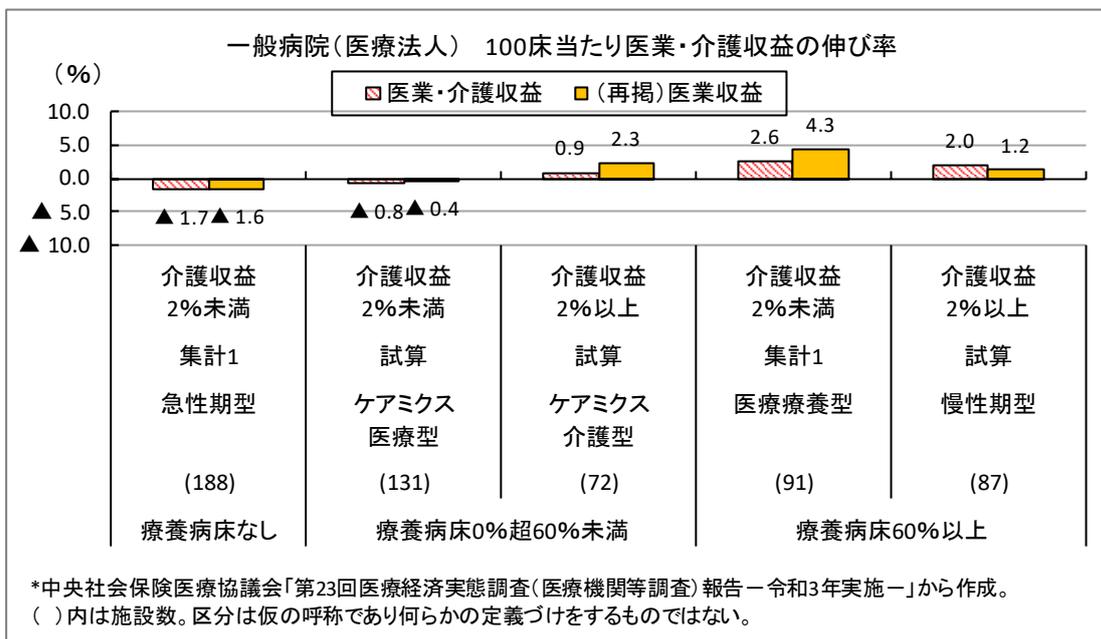
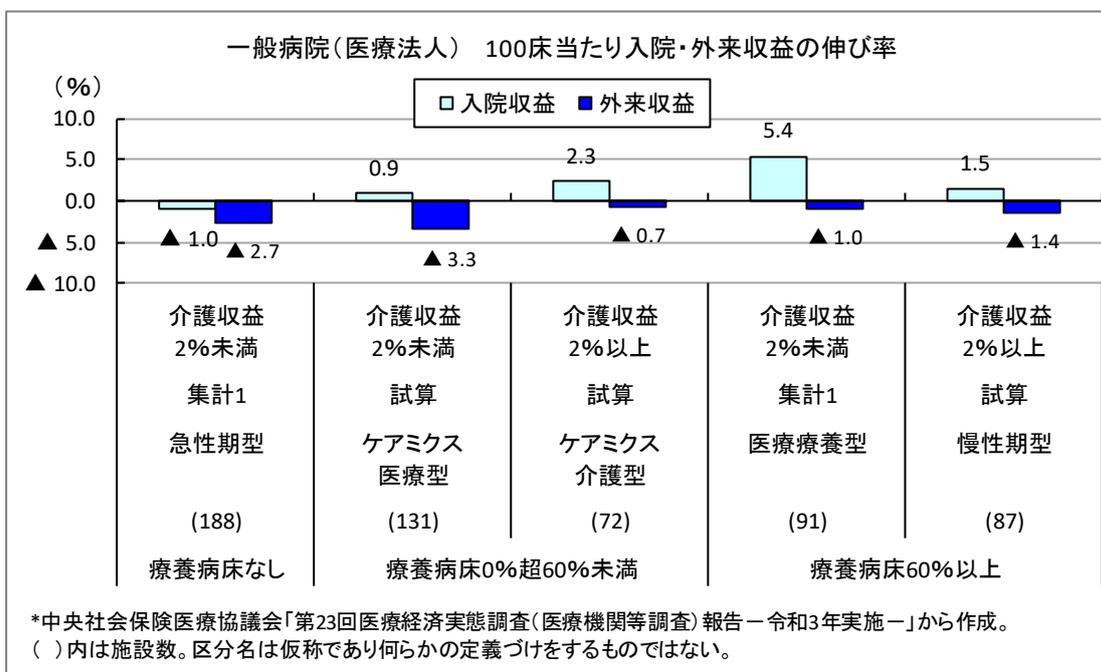
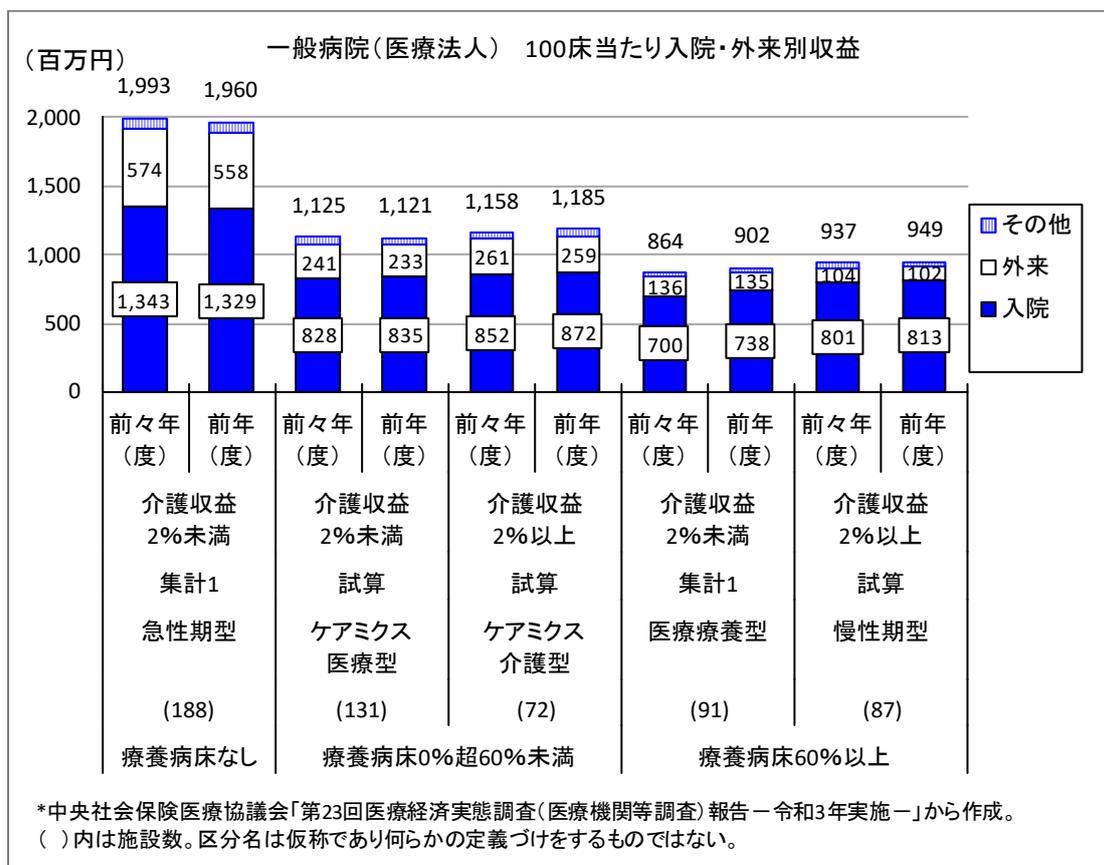


図 2.2.3 一般病院（医療法人） 100床当たり入院・外来収益の伸び率



100 床当たり入院・外来別収益は、「急性期型」は外来収益の割合が多く、かつ新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響も受け、外来収益が減少している。「医療療養型」、「慢性期型」はもともと外来収益の割合が低く、かつ外来収益の減収幅も小さい（図 2.2.4）。

図 2.2.4 一般病院（医療法人） 100 床当たり入院・外来別収益

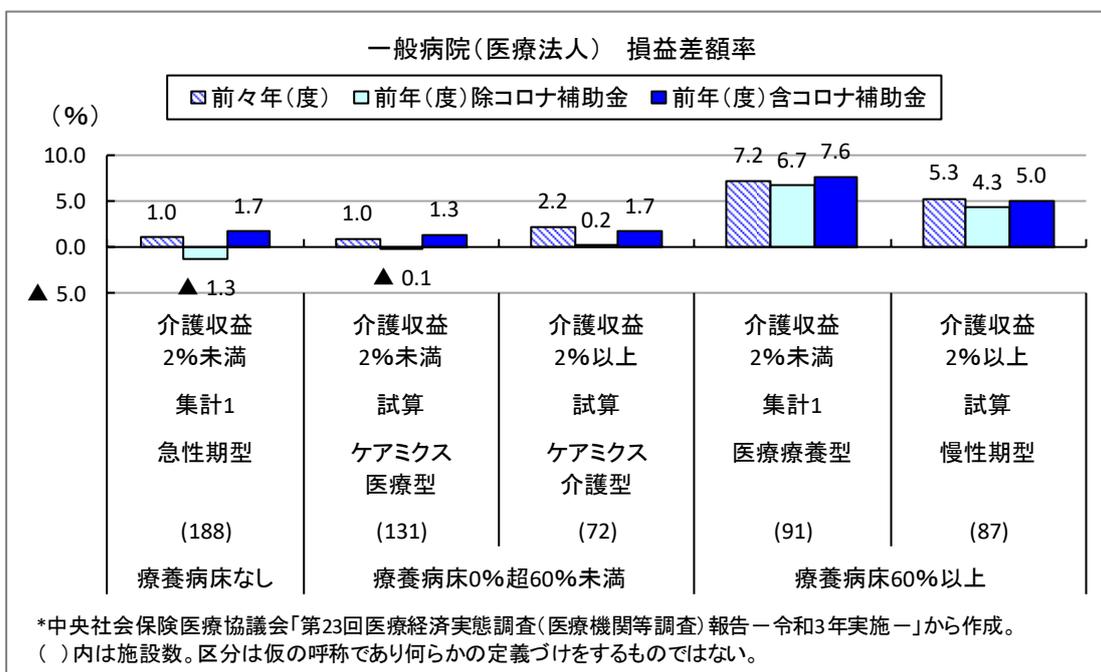


その他収益は、保健予防活動収益（各種の健康診断、予防接種など集団的保健予防活動による収益）、医療相談収益（人間ドック、妊産婦保健指導など個別的保健予防活動による収益）、受託検査・施設利用収益（他の医療機関から検査の委託を受けた場合の検査収益及び医療設備器械を他の医療機関の利用に供した場合の収益）。

## 2.2.2. 損益差額率および費用

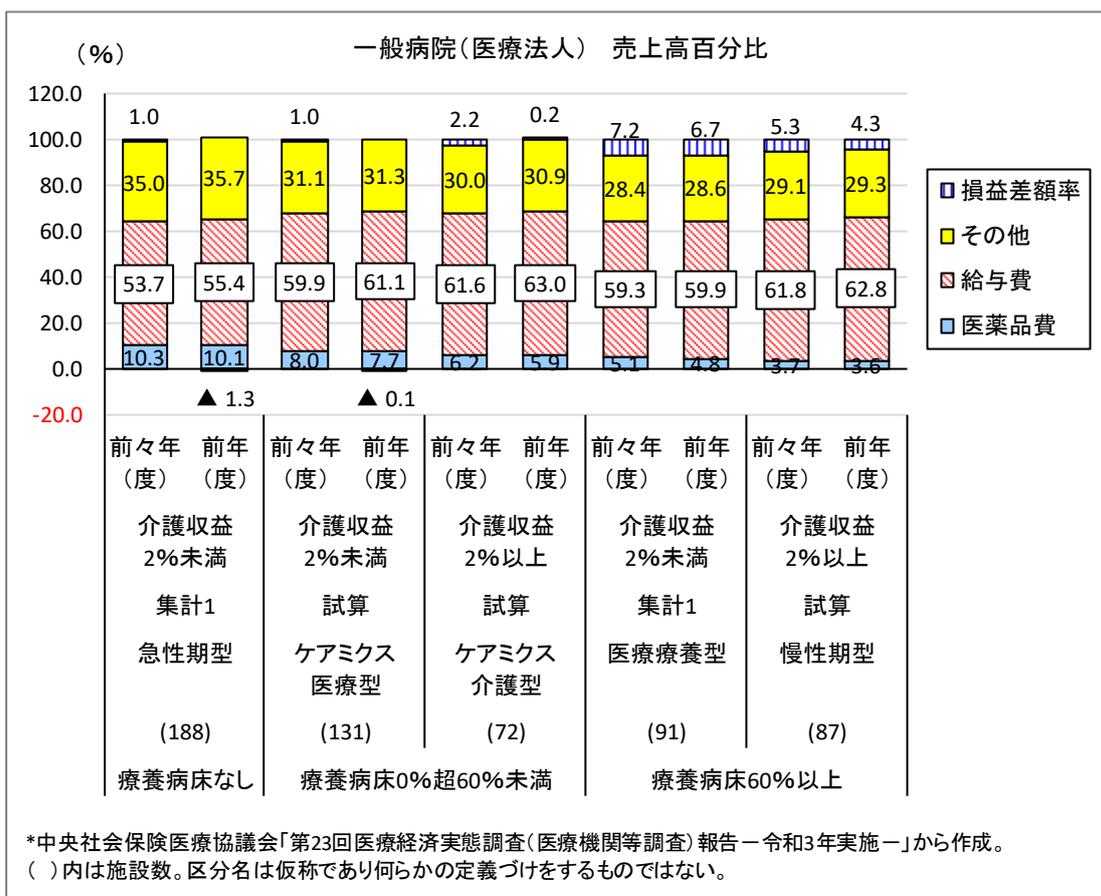
損益差額率は、一般病床主体の病院と療養病床主体の病院とでその水準が大きく異なる。「急性期型」および「ケアミクス医療型」は、損益差額率のマイナスを新型コロナウイルス感染症関連の補助金で取り戻したが、損益差額率はなお1%台と低い（図 2.2.5）。

図 2.2.5 一般病院（医療法人） 損益差額率



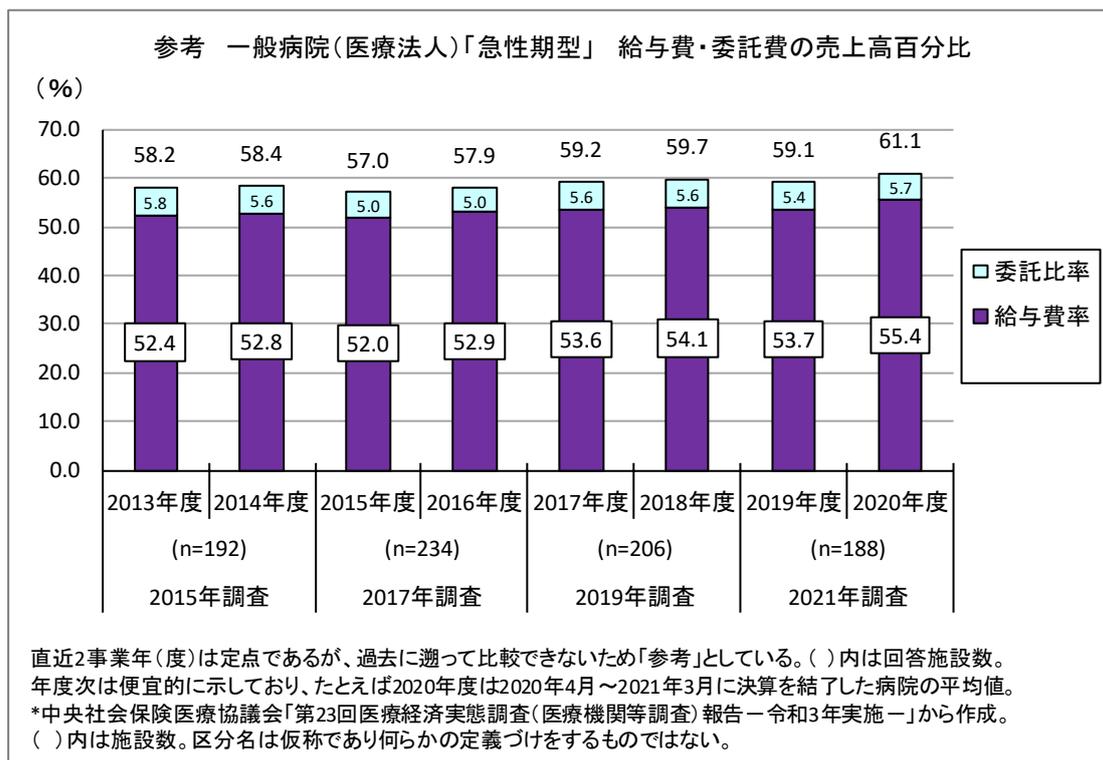
すべてのカテゴリで給与費率が増加し、損益差額率（除コロナ補助金）が悪化した。また「急性期型」は、医薬品費およびその他の費用（減価償却費、設備関係費、経費等）の割合も高い（図 2.2.6）。

図 2.2.6 一般病院（医療法人） 売上高百分比



「急性期型」の給与費率はかつて50%をやや上回る程度であったが、直近では50%台半ばに上昇している（図 2.2.7）。

図 2.2.7 参考 一般病院（医療法人）「急性期型」 給与費・委託費の売上高百分比



注)「医療経済実態調査」は直近2事業年(度)のみ定点調査であるため、過去に遡って経年比較を行うことは適当ではないが、参考として示した。

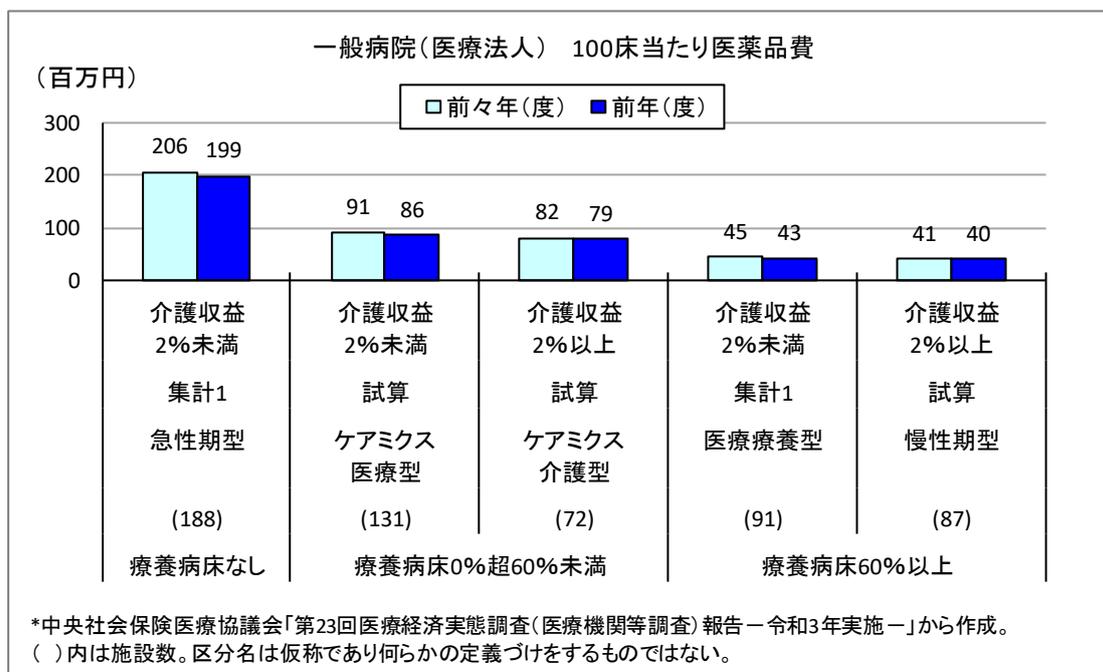
100床当たり医薬品費は、

- ・「急性期型」は「ケアミクス医療型」「ケアミクス介護型」の約2倍
- ・「ケアミクス医療型」「ケアミクス介護型」は「医療療養型」「慢性期型」の約2倍

である（図 2.2.8）。

また、前々年（度）から前年（度）にかけて、医業収入の減少に伴い、医薬品費も変動費なりの減少を見せている。

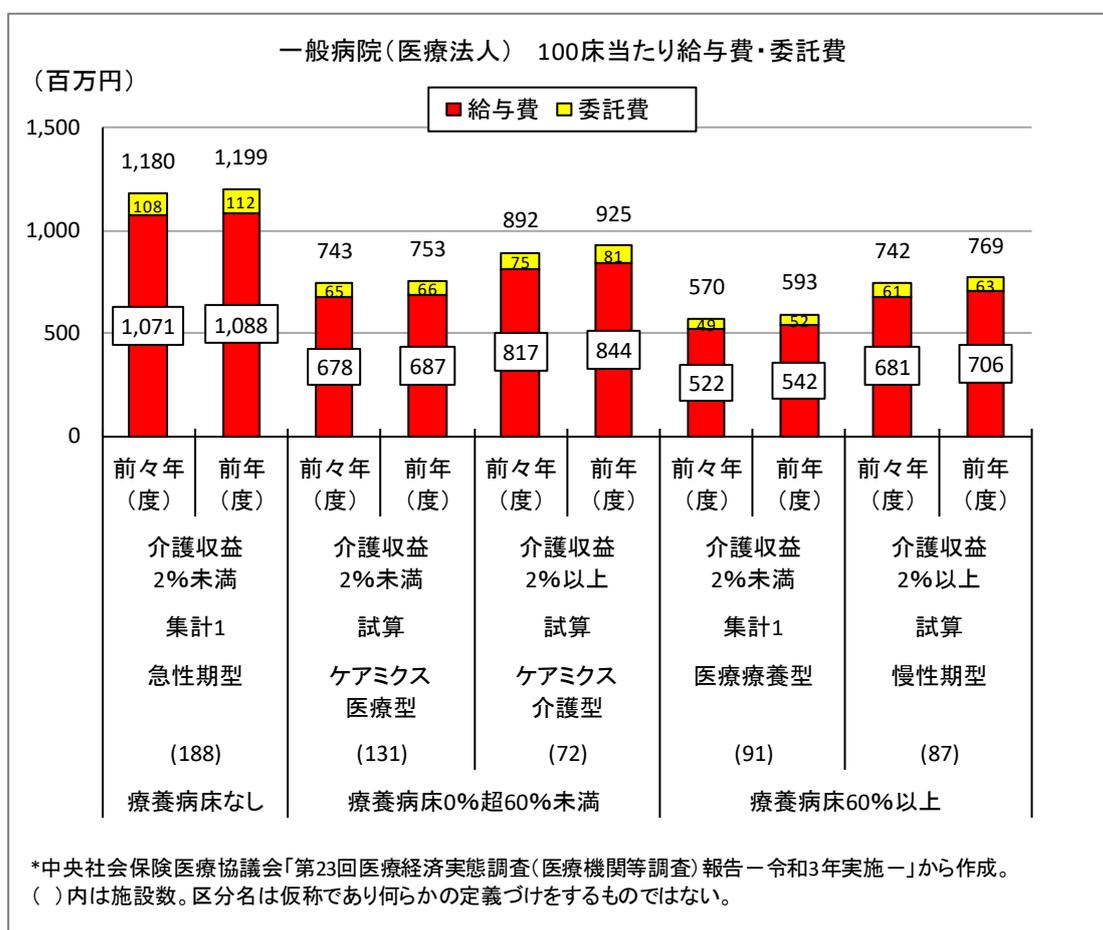
図 2.2.8 一般病院（医療法人） 100床当たり医薬品費



100床当たり給与費および委託費は、「急性期型」では「医療療養型」の約2倍、すなわち、「急性期型」の病床単位当たりの人的資源投入量は「医療療養型」の約2倍である。また、すべてのカテゴリで病床単位当たりの人的資源投入量が増加した（図 2.2.9）。

なお、「100床当たり」で示しているが、外来に割り当てられる人的資源の給与費等を含む。

図 2.2.9 一般病院（医療法人） 100床当たり給与費・委託費

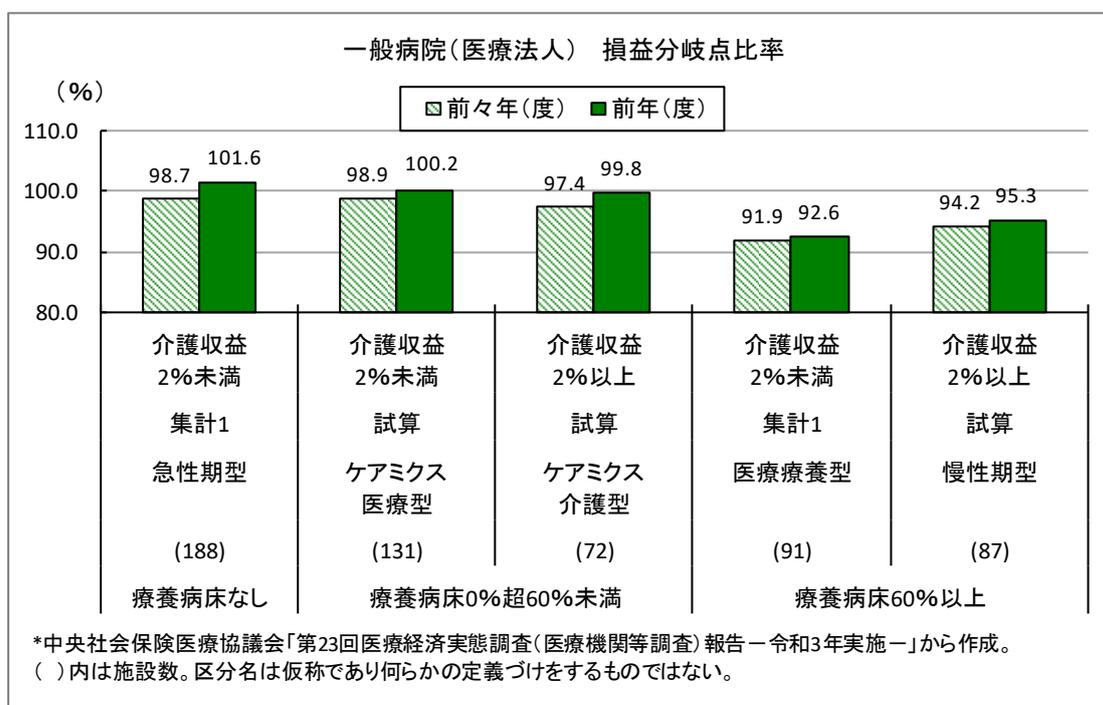


### 2.2.3. 損益分岐点比率

損益分岐点比率\*は低いほうが良い指標であり、利益率（ここでは損益差額率）が同じであれば、固定費の割合が低いほうが損益分岐点比率は低い。

「急性期型」は固定費である給与費率は低いが（前述）、もともと利益率が低いため損益分岐点比率が高く、かつ前年（度）は赤字であったため、損益分岐点比率は100%を超えている（図 2.2.10）。

図 2.2.10 一般病院（医療法人） 損益分岐点比率



※損益分岐点比率＝固定費÷{(売上高-変動費)÷売上高}÷売上高×100(%)

売上高、変動費、固定費を以下のように区分して簡便に試算した。

売上高：医業収益（コロナ補助金を含まない）、介護収益

変動費：医薬品費、材料費

固定費：給与費、委託費、減価償却費、その他の医業・介護費用

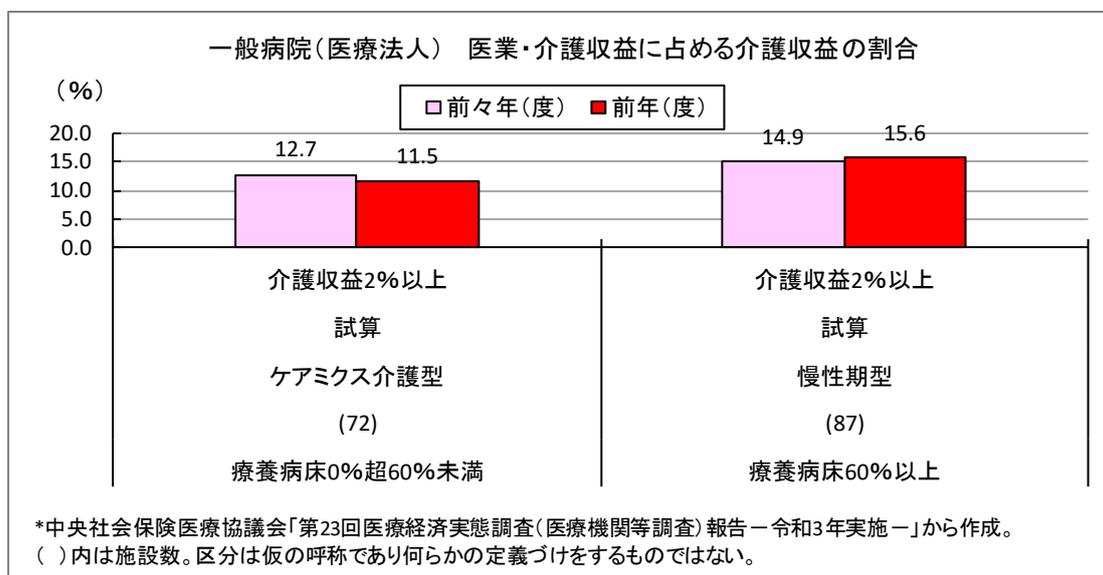
## 2.2.4. 介護収益（収入）

介護収益\*が2%以上ある病院について、介護収益の状況を示す。

医業・介護収益に占める介護収益の割合は、「慢性期型」で高く、平均で15.6%（前年（度））である（図 2.2.11）。

介護収益2%以上の病院には、介護収益2%をわずかに超える程度の病院も含まれていることも考慮すると、介護収益の割合がかなり高い病院が存在することがうかがえる。

図 2.2.11 一般病院（医療法人） 医業・介護収益に占める介護収益の割合



※介護収益：施設サービス収益（短期入所療養介護を除く）、居宅サービス収益（短期入所療養介護、地域密着型サービス、居宅介護支援及び介護予防サービスを含む）、その他の介護収益（文書料などを含む）。保険外の利用料による収益を含む。

1 病院当たり介護収益は、「ケアミクス介護型」でかなり減少した(図 2.2.12)。データに制約があるため、療養病床 0%超 60%未満の病院一括でしかわからないが、特に施設サービス収益が減少している(図 2.2.13)。

「ケアミクス介護型」は病院病床数を削減しており(前述)、病院病床から自院の介護施設に退院する患者が減少したことや、介護施設で新型コロナウイルス感染症患者が発生した影響等が考えられる。

図 2.2.12 一般病院（医療法人） 1 病院当たり介護収益

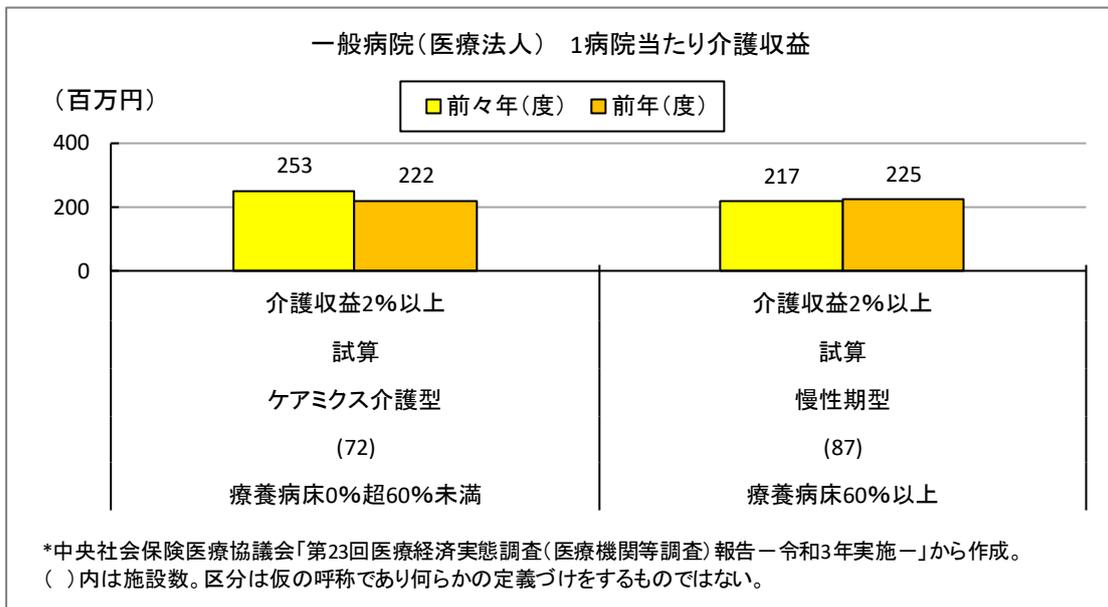
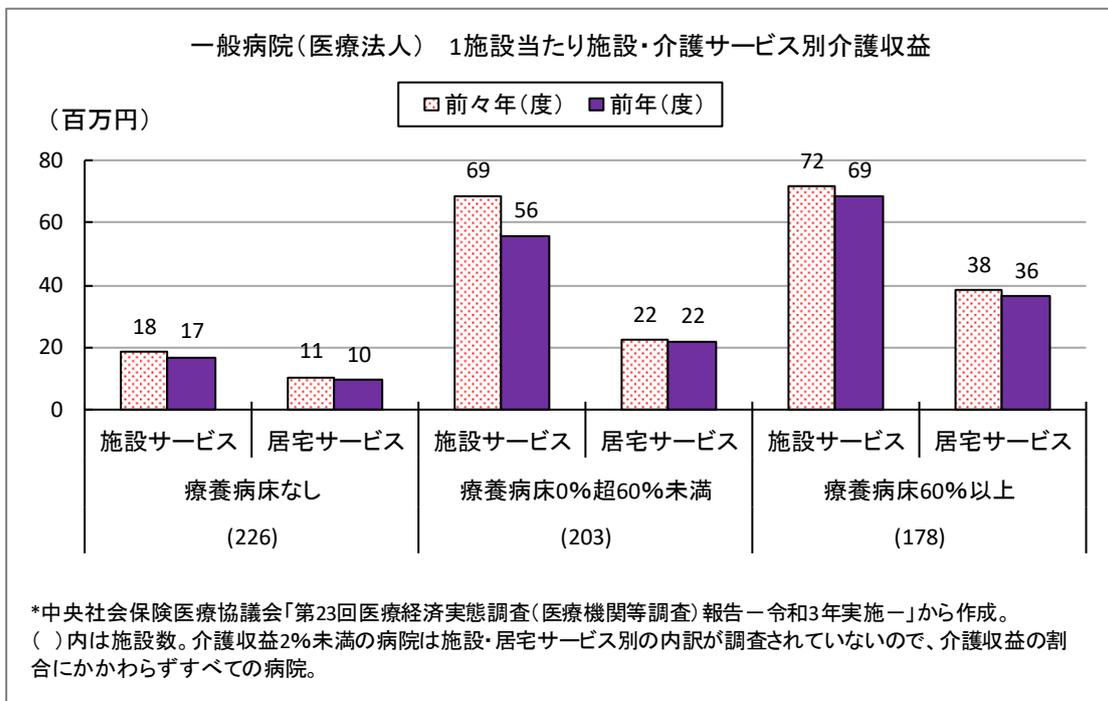


図 2.2.13 一般病院（医療法人） 1 病院当たり施設・介護サービス別介護収益



### 3. まとめ（おわりに）

「医療経済実態調査」に回答した病院の属性が必ずしも全国の実態を表わしているわけではないが、データの限界を認識した上で、あらためて、まとめと考察を記したい。

1. 民間一般病院は、大きく①「急性期型」、②「ケアミクス型（医療型、介護型）」、③療養病床主体の病院（「医療療養型」、「慢性期型」）に分類され、それぞれの経営上の特性はかなり異なる。
2. 「急性期型」の病院は、新型コロナ対応の補助金収入で収益が改善したことが注目されているが、もともとの利益率の水準が低い。すなわち、売上高に比して費用が多いか、費用に見合った売上高ではない。給与費率はかつて50%強であったが、直近では50%台半ばに上昇している。外部支出も多く、他産業での賃上げや物価上昇の影響を受ける。また外来収益の割合が高く、入院収益にも外来収益にも目配りをする必要がある。
3. 「ケアミクス介護型」「慢性期型」の中には、介護収益の割合がかなり高い病院があることがうかがえる。「ケアミクス介護型」では前々年（度）から前年（度）にかけて介護収益が減少している。病院の病床削減率がやや大きいことから、自院の一般病床から介護施設への退院患者数の減少が影響している可能性がある。一方、「慢性期型」では療養病床と介護施設との相乗効果が高いのかもしれない。
4. 「医療療養型」、「慢性期型」では病床を調整（削減）して稼働率が上昇し、現在のところ一定の収益性を維持している。しかし給与費率が6割以上と高く、職員の処遇改善が利益率に直結しやすい。

「医療経済実態調査」自体は、診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的としており、データそのものの制約もあるが、民間病院の経営改善に何らかの気付きを得ることを期待して、今後も多角的な活用を検討したい。

## 4. 付表

### 4.1. 1 施設当たり医業・介護収益

一般病院(医療法人) 1施設当たり医業・介護収益

		介護収益2%未満					介護収益2%以上				
		金額(百万円)		構成比(%)		金額伸び率(%)	金額(百万円)		構成比(%)		金額伸び率(%)
		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)	
療養病床なし		「急性期型」(n=188)					(施設数が少ないため参考n=38)				
	入院収益	1,504	1,489	67.3	67.7	▲ 1.0	919	905	59.4	59.3	▲ 1.5
	外来収益	642	625	28.7	28.5	▲ 2.7	396	384	25.7	25.2	▲ 3.1
	その他	86	82	3.8	3.7	▲ 4.6	67	73	4.3	4.8	9.5
	医業収益計	2,232	2,196	99.8	99.9	▲ 1.6	1,382	1,362	89.4	89.3	▲ 1.4
	介護収益	4	3	0.2	0.1	▲ 36.6	163	163	10.6	10.7	▲ 0.1
	医業・介護収益計	2,236	2,198	100.0	100.0	▲ 1.7	1,545	1,526	100.0	100.0	▲ 1.3
療養病床0%超 60%未満		「ケアミクス医療型」(n=131)					「ケアミクス介護型」(n=72)				
	入院収益	1,311	1,331	73.1	74.3	1.6	1,276	1,250	64.2	65.1	▲ 2.0
	外来収益	382	371	21.3	20.7	▲ 2.7	391	372	19.7	19.4	▲ 5.0
	その他	89	83	5.0	4.6	▲ 6.9	68	77	3.4	4.0	13.3
	医業収益計	1,781	1,785	99.4	99.7	0.2	1,735	1,698	87.3	88.5	▲ 2.1
	介護収益	12	6	0.6	0.3	▲ 50.3	253	222	12.7	11.5	▲ 12.5
	医業・介護収益計	1,793	1,791	100.0	100.0	▲ 0.1	1,988	1,920	100.0	100.0	▲ 3.4
療養病床60%以上		「医療療養型」(n=91)					「慢性期型」(n=87)				
	入院収益	854	856	79.5	81.6	0.2	1,059	1,043	72.7	72.3	▲ 1.5
	外来収益	166	157	15.5	14.9	▲ 5.9	137	131	9.4	9.1	▲ 4.4
	その他	34	34	3.2	3.2	▲ 2.2	44	43	3.0	3.0	▲ 1.0
	医業収益計	1,054	1,046	98.2	99.8	▲ 0.8	1,240	1,217	85.1	84.4	▲ 1.8
	介護収益	20	2	1.8	0.2	▲ 88.8	217	225	14.9	15.6	3.4
	医業・介護収益計	1,074	1,048	100.0	100.0	▲ 2.4	1,457	1,442	100.0	100.0	▲ 1.0

\*中央社会保険医療協議会「第23回医療経済実態調査(医療機関等調査)報告—令和3年実施—」から作成

## 4.2. 100床当たり医業・介護収益

一般病院(医療法人) 100床当たり医業・介護収益

		介護収益2%未満					介護収益2%以上				
		金額(百万円)		構成比(%)		金額伸び率 (%)	金額(百万円)		構成比(%)		金額伸び率 (%)
		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)	
療養病床 なし		「急性期型」(n=188)					(施設数が少ないため参考n=38)				
	入院収益	1,343	1,329	67.3	67.7	▲ 1.0	1,117	1,100	59.4	59.3	▲ 1.5
	外来収益	574	558	28.7	28.5	▲ 2.7	482	467	25.7	25.2	▲ 3.1
	その他	76	73	3.8	3.7	▲ 4.6	81	89	4.3	4.8	9.5
	医業収益計	1,993	1,960	99.8	99.9	▲ 1.6	1,680	1,656	89.4	89.3	▲ 1.4
	介護収益	4	2	0.2	0.1	▲ 36.6	199	199	10.6	10.7	▲ 0.1
	医業・介護収益計	1,996	1,963	100.0	100.0	▲ 1.7	1,879	1,855	100.0	100.0	▲ 1.3
療養病床 0%超60% 未満		「ケアミクス医療型」(n=131)					「ケアミクス介護型」(n=72)				
	入院収益	828	835	73.1	74.3	0.9	852	872	64.2	65.1	2.3
	外来収益	241	233	21.3	20.7	▲ 3.3	261	259	19.7	19.4	▲ 0.7
	その他	56	52	5.0	4.6	▲ 7.5	45	53	3.4	4.0	18.4
	医業収益計	1,125	1,121	99.4	99.7	▲ 0.4	1,158	1,185	87.3	88.5	2.3
	介護収益	7	4	0.6	0.3	▲ 50.6	169	155	12.7	11.5	▲ 8.6
	医業・介護収益計	1,133	1,124	100.0	100.0	▲ 0.8	1,327	1,339	100.0	100.0	0.9
療養病床 60%以上		「医療療養型」(n=91)					「慢性期型」(n=87)				
	入院収益	700	738	79.5	81.6	5.4	801	813	72.7	72.3	1.5
	外来収益	136	135	15.5	14.9	▲ 1.0	104	102	9.4	9.1	▲ 1.4
	その他	28	29	3.2	3.2	2.8	33	34	3.0	3.0	2.1
	医業収益計	864	902	98.2	99.8	4.3	937	949	85.1	84.4	1.2
	介護収益	16	2	1.8	0.2	▲ 88.2	164	175	14.9	15.6	6.6
	医業・介護収益計	880	904	100.0	100.0	2.6	1,102	1,124	100.0	100.0	2.0

\*中央社会保険医療協議会「第23回医療経済実態調査(医療機関等調査)報告-令和3年実施-」から作成

### 1 4.3. 1 施設当たり収益および費用

一般病院(医療法人) 1施設当たり収益および費用

		介護収益2%未満					介護収益2%以上				
		金額(百万円)		構成比(%)		金額伸び率(%)	金額(百万円)		構成比(%)		金額伸び率(%)
		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)	
療養病床なし		「急性期型」(n=188)					(施設数が少ないため参考n=38)				
	医業・介護収益計	2,236	2,198	100.0	100.0	▲ 1.7	1,545	1,526	100.0	100.0	▲ 1.3
	医業・介護費用計	2,213	2,226	99.0	101.3	0.6	1,515	1,500	98.0	98.3	▲ 1.0
	給与費	1,200	1,218	53.7	55.4	1.5	945	945	61.2	61.9	▲ 0.1
	医薬品費	231	223	10.3	10.1	▲ 3.6	96	92	6.2	6.0	▲ 4.5
	給食用材料費	20	19	0.9	0.9	▲ 1.7	19	19	1.2	1.2	▲ 0.4
	診療材料費・医療消耗器具備品費	233	236	10.4	10.7	1.3	81	78	5.2	5.1	▲ 3.2
	委託費	121	125	5.4	5.7	3.2	82	84	5.3	5.5	2.9
	減価償却費	94	92	4.2	4.2	▲ 1.9	65	65	4.2	4.2	▲ 0.3
その他	314	313	14.0	14.2	▲ 0.5	227	218	14.7	14.3	▲ 4.2	
療養病床0%超60%未満		「ケアミクス医療型」(n=131)					「ケアミクス介護型」(n=159)				
	医業・介護収益計	1,793	1,791	100.0	100.0	▲ 0.1	1,988	1,920	100.0	100.0	▲ 3.4
	医業・介護費用計	1,776	1,793	99.0	100.1	1.0	1,943	1,917	97.8	99.8	▲ 1.4
	給与費	1,073	1,094	59.9	61.1	2.0	1,224	1,211	61.6	63.0	▲ 1.1
	医薬品費	144	138	8.0	7.7	▲ 4.5	123	113	6.2	5.9	▲ 7.9
	給食用材料費	24	24	1.3	1.3	▲ 0.3	28	26	1.4	1.4	▲ 5.9
	診療材料費・医療消耗器具備品費	98	101	5.5	5.6	3.0	92	97	4.6	5.0	5.2
	委託費	103	106	5.8	5.9	2.4	112	116	5.7	6.0	3.1
	減価償却費	76	76	4.2	4.2	▲ 0.0	72	71	3.6	3.7	▲ 2.2
その他	258	255	14.4	14.2	▲ 0.9	292	284	14.7	14.8	▲ 2.8	
療養病床60%以上		「医療療養型」(n=91)					「慢性期型」(n=87)				
	医業・介護収益計	1,074	1,048	100.0	100.0	▲ 2.4	1,457	1,442	100.0	100.0	▲ 1.0
	医業・介護費用計	997	978	92.8	93.3	▲ 1.8	1,380	1,380	94.7	95.7	0.1
	給与費	636	628	59.3	59.9	▲ 1.3	901	906	61.8	62.8	0.6
	医薬品費	55	50	5.1	4.8	▲ 8.1	54	52	3.7	3.6	▲ 4.8
	給食用材料費	19	18	1.7	1.7	▲ 2.3	25	24	1.7	1.7	▲ 1.4
	診療材料費・医療消耗器具備品費	39	40	3.7	3.8	0.3	42	44	2.9	3.0	4.6
	委託費	59	60	5.5	5.7	1.1	81	81	5.5	5.6	0.3
	減価償却費	37	36	3.4	3.4	▲ 2.1	55	54	3.8	3.7	▲ 2.3
その他	152	147	14.1	14.0	▲ 3.4	222	220	15.3	15.3	▲ 1.0	

\*中央社会保険医療協議会「第23回医療経済実態調査(医療機関等調査)報告—令和3年実施—」から作成

2  
3  
4

# 1 4.4. 100床当たり収益および費用

一般病院(医療法人) 100床当たり収益および費用

		介護収益2%未満					介護収益2%以上				
		金額(百万円)		構成比(%)		金額伸び率 (%)	金額(百万円)		構成比(%)		金額伸び率 (%)
		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)		前々年(度)	前年(度)	前々年(度)	前年(度)	
療養病床 なし		「急性期型」(n=188)					「施設数が少ないため参考n=38」				
	医業・介護収益計	1,996	1,963	100.0	100.0	▲ 1.7	1,879	1,855	100.0	100.0	▲ 1.3
	医業・介護費用計	1,976	1,988	99.0	101.3	0.6	1,841	1,823	98.0	98.3	▲ 1.0
	給与費	1,071	1,088	53.7	55.4	1.5	1,149	1,149	61.2	61.9	▲ 0.1
	医薬品費	206	199	10.3	10.1	▲ 3.6	117	112	6.2	6.0	▲ 4.5
	給食用材料費	18	17	0.9	0.9	▲ 1.7	23	23	1.2	1.2	▲ 0.4
	診療材料費・医療消耗器具備品費	208	211	10.4	10.7	1.3	98	95	5.2	5.1	▲ 3.2
	委託費	108	112	5.4	5.7	3.2	99	102	5.3	5.5	2.9
	減価償却費	84	82	4.2	4.2	▲ 1.9	79	78	4.2	4.2	▲ 0.3
その他	280	279	14.0	14.2	▲ 0.5	276	265	14.7	14.3	▲ 4.2	
療養病床 0%超60% 未満		「ケアミクス医療型」(n=131)					「ケアミクス介護型」(n=159)				
	医業・介護収益計	1,133	1,124	100.0	100.0	▲ 0.8	1,327	1,339	100.0	100.0	0.9
	医業・介護費用計	1,122	1,126	99.0	100.1	0.3	1,297	1,337	97.8	99.8	3.0
	給与費	678	687	59.9	61.1	1.3	817	844	61.6	63.0	3.3
	医薬品費	91	86	8.0	7.7	▲ 5.1	82	79	6.2	5.9	▲ 3.8
	給食用材料費	15	15	1.3	1.3	▲ 0.9	19	18	1.4	1.4	▲ 1.7
	診療材料費・医療消耗器具備品費	62	63	5.5	5.6	2.3	61	67	4.6	5.0	9.9
	委託費	65	66	5.8	5.9	1.8	75	81	5.7	6.0	7.7
	減価償却費	48	48	4.2	4.2	▲ 0.7	48	49	3.6	3.7	2.2
その他	163	160	14.4	14.2	▲ 1.6	195	198	14.7	14.8	1.5	
療養病床 60%以上		「医療療養型」(n=91)					「慢性期型」(n=87)				
	医業・介護収益計	880	904	100.0	100.0	2.6	1,102	1,124	100.0	100.0	2.0
	医業・介護費用計	817	844	92.8	93.3	3.3	1,043	1,076	94.7	95.7	3.1
	給与費	522	542	59.3	59.9	3.8	681	706	61.8	62.8	3.7
	医薬品費	45	43	5.1	4.8	▲ 3.3	41	40	3.7	3.6	▲ 1.8
	給食用材料費	15	16	1.7	1.7	2.8	19	19	1.7	1.7	1.7
	診療材料費・医療消耗器具備品費	32	34	3.7	3.8	5.5	32	34	2.9	3.0	7.8
	委託費	49	52	5.5	5.7	6.3	61	63	5.5	5.6	3.4
	減価償却費	30	31	3.4	3.4	3.0	41	42	3.8	3.7	0.7
その他	124	126	14.1	14.0	1.6	168	172	15.3	15.3	2.1	

\*中央社会保険医療協議会「第23回医療経済実態調査(医療機関等調査)報告—令和3年実施—」から作成

2  
3